

東日本大震災被災者支援と国際協力を考える

～3回の連続セミナーを振り返る～

参加費 無料
定員 50名
(事前申込要)

2011年12月14日(水) 18:40～20:40 JICA大阪にて

3月11日に発生した東日本大震災を受け、国際協力に関わる研究者と実務者は、被災地支援と国際協力との接点を考えるための勉強会をシリーズで実施しています。これまで「被災地が日常生活を取り戻すまでのボランティア支援」(6月14日、中井隆陽氏・西原昇氏)、「海外での活動との比較、海外援助受入の窓口として」(9月14日、折居徳正氏)、「東日本大震災における移民コミュニティ」(10月14日、吉富志津代氏)の3回のセミナーを実施しました。今回はこれまでの議論を振り返り、今後の指針を明らかにしたいと思います。とくに、さまざまに立場の異なる被災者のエンパワーメントはどのように達成できるのか、国際協力を行ってきた個人や団体の経験を十分に活かすためにはどのような工夫が必要かの2点を中心に議論を進めたいと思います。

◆講師◆

◆林 勲男(はやしいさお)氏

国立民族学博物館・民族社会研究部准教授

日本国内外の被災地の復興や防災に関して人類学の視点から研究している。

特定非営利活動法人防災デザイン研究会理事
日本学術会議「自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会」委員

◆プログラム◆

- 18:30 開場・受付
- 18:40 開会
- 18:45 講演
- 19:50 ディスカッション
- 20:40 閉会
- (21:00-JR茨木駅近くで懇親会を予定しています)

◆お申し込み方法◆

- ①お名前 ②所属 ③Eメールアドレス
 - ④懇親会(21:00～)参加の有無
- をセミナー事務局(jicaminseminar@yahoo.co.jp)までメールにてお知らせください。
※締め切りは12月13日(火)です。
セミナー事務局:国立民族学博物館(白川千尋・鈴木紀)
Tel:06-6876-2151(代)
当日連絡先:JICA大阪(山本・津末)

研究者と実務者による国際協力セミナーとは...

国際協力を効果的に進めるためには、開発問題や途上国事情に詳しい研究者と国際協力事業の実務者との対話が必要です。本セミナーを通じて、研究者は実務の現場を知り、自信の研究の実践的価値を検討することが可能です。実務者は、日頃の自分の経験を振り返り、業務中に生じた疑問に対するヒントを見つけたり、包括的な立場から国際協力について考えることが出来ます。

国際協力 研究に関心のある方なら、どなたでも本勉強会にご参加ください。国際協力「研究の現場」に触れることができます。開発研究・地域研究・人類学に興味のある方、NGOスタッフ、コンサルタント、ボランティアとして国際協力の現場で活動している方など、多方面からのご参加をお待ちしています。



◆会場へのアクセス◆ JICA大阪
茨木市西豊川町25-1 Tel.072-641-6904
JR茨木駅 大阪モノレール阪大病院前駅から
無料シャトルバスあり。詳細は
<http://www.jica.go.jp/osaka/>をご覧ください。

